

摂食・嚥下(食べること)の障害を防ぐ！！

■このような症状はありませんか？

- ✓ むせる、せき込む
- ✓ 口の端からよだれが出る
- ✓ 飲み込みが悪くなった
- ✓ 食べ物が喉に詰まった感じがする
- ✓ 飲み込んだときに声がかすれる
- ✓ 食事の時間が長くなる



■摂食・嚥下障害とは

嚥下障害とは、食べ物を認知し、口で取り込み、飲み込むまでの機能の総称です。この機能に障害が起こると低栄養状態、誤嚥事故、窒息事故などにつながる恐れがあります。また、認知症が進行すると、食べることへの認知が障害され、さらに飲み込みも困難になることがあります。

■患者さまに合わせた摂食・嚥下リハビリテーション

当院では医師・言語聴覚士を中心に、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士など多職種スタッフが協力し、嚥下障害に対する検査や治療を行っています。

■摂食・嚥下の機能評

嚥下造影検査 (VF)

透視下で造影剤を含んだ食物を食べ、嚥下動態を確認する検査です。



嚥下内視鏡検査 (VE)

内視鏡を用いて咽喉頭部を観察しながら、嚥下動態を観察する検査です。



当院のリハビリスタッフが担当します
詳しくは2階リハビリ室受付にお尋ねください